

長崎空港

【実施主体：個社】

長崎空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ</p>	料金交渉	元売り会社等との代行手数料の見直し交渉により、処遇改善に繋がっている。	
	委託先との契約金額の見直し	処遇改善を含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として委託先との契約金額について、順次、見直しを進めている。	
	R6年度の受託料の値上げ	(1)H/J防止検査業務については、入札の結果、R6年度の受託料が値上げとなった。 (2)地上作業監視業務については、R5年12月から航空会社毎に個社で単価交渉を実施。	
<p>【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）</p>	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	
<p>【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進</p>	個別面談を行い現状の把握に努める(適正人員の見直し)	国際線再開に向け、コロナ前に就航していた外国航空会社が複便した場合のシュミレーションを実施し、適正人員の確認を実施した。(現在、ワンマン給油従事者が14名(所長、専従除く)なので、最低3名不足)	2023年7月に新規採用。（現在訓練を実施中）
<p>【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握</p>	個別面談を行い現状の把握に努める	各社の運航時間の変更に合わせ、都度、勤務時間の見直しを図り、残業時間の軽減に努めている。	
<p>【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制</p>	個別面談を行い現状の把握に努める	所内での業務量の偏りを防止する為、出来る限り作業分担を行い、負担軽減に努めている。	
<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・1ターンの活用）等）</p>	本社と連携し、採用活動を強化	業務内容の説明、仕事のやりがい、会社PR、給与待遇、社会保障制度、福利厚生等の説明、給油施設、給油作業の見学を実施。	2023年7月に新規採用者入社。
	リファラル採用制度の実施(航空専門学校、任期制自衛官等の合同企業説明会の参加、就職サイトでの採用活動等)	会社と求職者のミスマッチ、航空専門学校の採用については定員割れ、採用希望人数に達してしない現状。	2023年より制度運用開始。

<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）</p>	<p>自動車学校入校等に係る講習費用の支援</p>	<p>採用時点で大型免許未取得者に対して自動車学校入校などに係る講習費用を負担している。</p>	<p>採用時における大型免許未取得者へは、自動車学校などの講習費用の負担が課題。応募時点で大型自動車免許を取得していないケースもあり、会社として講習費用の負担や社内のワンマン給油作業資格を取得するにも最低1年以上の期間を要し、即戦力となるには、一定の期間が掛かってしまう実情あり。</p>
	<p>本社と連携し、採用活動を強化</p>	<p>(1)通常の求人媒体に加えて有料の人材紹介会社と契約締結し採用の強化を図った。 (2)採用協力手当（社員紹介制度）の内容を変更（手当の増額等）し、採用活動の積極化を図った。 (3)これまで社員採用を中心として採用活動を行っていたが、契約社員等（パート含む）の採用も含めて強化を図った。</p>	
<p>【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）</p>	<p>自社航空管理規程を改訂</p>	<p>就航航空会社が多数、同一機種が複数、1日に訓練出来る便数が7～8便、機種が多い事業所の場合、15機種以上の訓練が必要、均等に訓練する場合、1回の修了が2～3日を要し、訓練が長期化し人材配置に時間を要する。 同一機種が複数の航空会社である場合は航空会社を1社に選定する工夫を実施。（1日に訓練機種の選定を7～8機種に留める。）</p>	<p>2023年10月より新規定（基準）により運用予定。</p>
<p>【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入</p>	<p>一部航空会社機体に対するワンマン化の実施(ワンマン用作業台の製作)</p>	<p>給油体制や作業効率を上げる為、ORC ATRのワンマン用作業台1台を配備。ATR 2機体制に備え、2台目作業台の配備を検討中。（製作費用が高額となるため、コスト面での課題あり。）</p>	<p>2023年4月より作業台を配備し、2名で行う作業を1名での作業に変更した。（1日約4便の作業に適用）</p>
<p>【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備</p>			
<p>【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進</p>			
<p>【中期】 特定技能制度の積極的な活用</p>			

【実施主体：空港会社等】

長崎空港

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 空港内の労働環境の改善</p>	<p>①入居テナントが利用できるフリースペースの充実 ②保安検査場検査員の労働環境の改善</p>	<p>①R5.3月にフリースペースとして入居テナントが利用できる休憩室を整備。R5.5月に飲食自販機を設置するとともに、R5.9月に人目を気にせずゆっくり出来るよう衝立を設置。 ②保安検査場改修に合わせ、保安検査員の作業スペースの確保を図るとともに、検査用トレーの回収・配置に要する導線を見直し、保安検査員の業務負荷が低減されるレイアウトに改修を実施中。また、労働環境改善を目的にエアコンを追加設置予定。</p>	
<p>【短期】 空港の知名度を生かした採用活動</p>			
<p>【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進</p>			
<p>【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）</p>			

【実施主体：地方自治体】

長崎空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化</p>	<p>対面やオンラインによる協議</p>	<p>冬ダイヤからの国際線の運航再開に向けた具体的な調整のほか、チャーター便・定期便の就航に向けた課題等に係る協議を実施</p>	<p>R5年10月30日から長崎～上海線が運航再開するための体制整備を実現</p>
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>	<p>部局横断的な連携による空港関連企業合同説明会・見学会の周知</p>	<p>3月に開催する「長崎空港おしごと説明会・見学会」の学生等への周知を産業労働部や教育庁と連携して実施</p>	
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>	<p>部局横断的な連携による空港関連企業合同説明会・見学会の周知</p>	<p>3月に開催する「長崎空港おしごと説明会・見学会」の学生等への周知を産業労働部や教育庁と連携して実施</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>国際線受入体制整備に向けた意見交換</p>	<p>国際線の受入体制に係る現状・課題の共有のほか、空港関連企業の人材確保に向けた合同説明会・見学会の実施に係る協議を実施。</p>	<p>R6.3月23日に「長崎空港おしごと説明会・見学会」を空港内で開催予定</p>
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理 等）	長崎空港WG構成機関への各空港WGベストプラクティス等の情報提供	今年2月、7月に空港WGを開催した際に、国際線運航再開に向けて直面しているグラハン人材不足などの課題検討の参考材料として議論している。今冬ダイヤから国際線再開の目途はたったが、引き続き、長崎県など自治体も含めて、長崎空港関係者で協議し、空港業務全般における人材不足の課題や対策について検討を続けていく予定。	
【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）	説明会への協力・参画及び空の日を通じたPR等	説明会への協力・参画（受付や案内の協力、空港見学の実施）、空の日を通じたPR等	
【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助 等）	地方空港等受入環境整備事業費補助金	R4補正補助金の活用に向けた積極的な周知・取り纏め等	
【短期】 各主体による取組の重要性の発信	「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」の再周知	「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」について、各主体の取組の更なる浸透を図るため空港WGを開催し再周知。	
【短期】 空港WGの活用推進	空港業務体験等の開催可否検討	長崎県と協力して空港ビル会社、航空会社、給油会社、保安検査会社等に対してビル会社待合室などを活用して業務説明会や現場業務見学会等が開催できないか長崎空港WGにおいて提案し、模索している。	
【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港運営会社と連携し、空港WGにおいて航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。	
【中期】 更なる支援措置等の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ R5年度補正予算にかかる補助メニューの説明を関係者へ実施 ・ R5年度補正補助金制度を積極的に活用いただくよう周知を実施 	補助事業の内容についてわかりやすく説明を行い、活用してもらうよう取り組んだ。	

<p>【中期】 更なる支援措置等の検討</p>	<p>人材確保や業務効率化に関して長崎空港における最適な方法と対応策を検討。 長崎県が事務局の長崎空港活性化推進協議会が主催する「おしごと説明会」の開催</p>	<p>説明会の開催に向けた、空港WGの会議主催や調整、また、おしごと説明会実施への支援活動を行った。</p>	
-----------------------------	--	--	--